

地元問題

戸田かけはし高等特別支援学校に中学部の設立を！



戸田かけはし高等特別支援学校内に中学部を作ることはできないか。

中学部新設は困難だが、知的障害特別支援学校の学習環境改善に努めていく

かけはしには戸田市をはじめ川口市、蕨市からも多数の生徒が通学しており、現状では空き教室がないため新たに中学部を作るのは困難だが、知的障害特別支援学校の過密対策を進める中で、児童生徒の学習環境改善に努めていく。



教育長

南部保健所を所管自治体(戸田市・蕨市)内に移転を！



南部保健所は川口市にあり、戸田と蕨を所管しているが、戸田・蕨市内に移転する考えはないか。

移転は困難。今後、情勢の変化があった際は、改めて検証していく

新たな庁舎建設には多大な費用がかかる上、南部保健所は利用に支障はないため、直ちに戸田市内や蕨市内に移転することは困難。今後、情勢の変化があった際には、改めて検証していく。



保健医療部長

「ボートのまち戸田 in 埼玉」のまちづくりを！



県営である戸田公園の管理者として、「ボートのまち戸田 in 埼玉」のブランディングのために、埼玉県として何が出来るかを主体的に考えていけないか。また、県第一艇庫あるいは県営戸田公園内を改修・開放して、シャワー室やカフェ、エルゴマシンのトレーニングスペース等市民・県民が集える施設を併設し、ボートのまちの賑わいを生み出す施設へと改修できないか。



さいたま・ち・とだみちゃん＆コバタン

広く市内外からの来園者を掘り起こしや施設の有効活用策を検討していく

ボート競技写真の活用など、公園の魅力がより伝わるように工夫したい。また、ホームページに駅から公園までの道順や目印を分かりやすく表示し、来場者のアクセス改善に努めていく。地域住民の皆様の機運醸成や広く市内外からの来園者の掘り起こしに、戸田公園としてもその一翼を担っていく。シャワー室の拡充や増設、およびカフェやトレーニングスペースの新設についても検討していく。ボートのまちづくりとしての賑わいづくりに貢献できるよう、施設の有効活用策を検討していく。



都市整備部長



県営戸田公園ボート競技場

一般質問を終えて

令和4年9月定例会

令和2年9月定例会で県議会議員として初めての一般質問を経験してから、今回が2回目の一般質問になりました。前回より内容も増え、日々皆様からいただくご意見や公約として掲げた政策を訴えました。大変緊張しましたが、支えていただいている皆さんや市議時代の仲間が傍聴に駆けつけてくださり、大きな後押しになりました。実現できたものもあれば実現できなかったものもありますが、今後も県と市のつなぎ役として引き続き粘り強く訴えてまいります。



傍聴に来てくださった皆さんと



大野県知事と



無所属県民会議の岡代表と



戸田の会の皆さんと

皆様のご意見を募集しています！

皆さんからの声が活動の原動力です。県政に関するご意見・ご要望をお聞かせください。一つひとつの声を大切に、フットワーク軽く対応してまいります。



無所属県民会議 戸田支部 このの桃子

〒335-0023 戸田市本町1-21-8-1F

TEL & FAX: 048-235-5358

ホームページ <https://konnomomoko.com/>

メールアドレス info@konnomomoko.com

ホームページはこちら



【討議資料】

このの桃子 県政報告レポート(2022年12月発行)

埼玉県議会議員 / 無所属県民会議

このの桃子



ご挨拶

県政に送り出していたが、早いもので1期4年目を迎え、9月定例会において2回目の登壇の機会をいただきました。幼稚園等送迎バスでの置き去り対策、社会に開かれた教育課程の実現、デジタル経済の実現、公約として掲げた政策や皆さんからいただいたお声を県政の場で訴えました。引き続き全力で政策を進めてまいります。

このの桃子プロフィール

【経歴】 1991年3月17日生まれ、新井小学校、埼玉女子学院中学校・高校、東京理科大学、慶応義塾大学大学院、法務博士(法務第二(刑)専門) 大塚河北常務顧問、国会議員公約別冊(戸田一選会議員(2期))、埼玉県議会議員(1期市初的女性県議として当選) 政見無所属 【資格等】 弁護士、司法書士、全国子ども権利協会、FP2級、吉野塾塾生、元NPO

【討議資料】

令和4年9月定例会

一般質問 特大号



送迎バスでの園児置き去り防止対策

2022年10月4日掲載

質問内容が新聞各紙に掲載されました!



子どもの命は大人が守るべき!

置き去り防止対策の義務化を!

女兒が認定子ども園の送迎バスに置き去りにされ、熱中症で亡くなる事故が起きた。置き去り防止はあらゆる角度から対策を取るべき。安全装置やセンサー設置の他、例えば費用がかからない対策として、バス乗車時に園児の靴を脱がせて降車時に履かせる運用はどうか。また、クラクションを鳴らす訓練、人員配置の増員補助なども必要。二度とこのような悲しい事故を起こさないための対策について知事のお考えは。



可能な限りの対策を講じて園児の命を守る

様々な措置について進めていく

幼稚園、保育園、認定こども園に対し、安全管理徹底の周知・再確認をお願いした。ブザーや車内センサー等の安全装置やデジタル技術の普及支援、バス乗降時の靴の着脱やクラクションを鳴らす訓練など(この)議員のご提案も踏まえて可能な限りの対策を講じ園児の命を守っていく。人員配置の増員補助は国で検討されている。県としても財政や体制など、様々な措置について根拠を持った形で進めていく。

埼玉新聞



県議会初! 活字読み上げ装置を活用し、このの質問を傍聴にいらした視覚障がい者の方が通告書を確認!



選挙における視覚障がい者への情報保障

選挙公報等の音訳等情報保障とその周知を!



現在、県内では、衆参院選、知事選、市長選、市議会選は、選挙公報等の音訳を作成・配布されているが、県議選についてのみ音訳されていない。選挙は民主主義の根幹である。選挙公報を読み上げ可能なPDFファイルをCDとして配布する等、早急に情報保障を行うべき。また、情報保証の周知を。



2023年3月の県議会議員選挙から実施できるよう検討する 候補者の経歴、政見などを掲載した選挙公報は、選挙人が投票するに当たっての判断材料として発行されるものであり、視覚障がいのある方にその情報を提供することは大変重要であると認識している。直近の県議会議員選挙に向け、選挙公報を音訳したCD等を配布できるよう検討を進める。

教育改革

「社会に開かれた教育課程」を実現していくビジョンを!

令和2年からの新学習指導要領では「社会に開かれた教育課程」の実現を目指しているが、県教育委員会の存在意義について、そのビジョンをうかがいたい。



この

学校と地域との協働体制が充実してきている
地域学校協働活動、学校応援団、コミュニティ・スクール等、学校と社会が連携する取り組み充実している。企業退職者等の協力で小学校のプログラミング教育が改善した例もあり、学校と地域住民、企業、団体等との連携・協働を発展させ、今後とも「社会に開かれた教育課程」の実現に取り組んでいく。



教育長



無所属県民会議で戸田市教育委員会を視察▼

特別免許状の活用を!

特別免許状制度は、平成15年以降、県教育委員会の採用となる公立小中学校の授与実績は1件もなく、県教育委員会任命教員の未配置・未補充が合計154人いる。文科省からも当制度を積極活用する旨通知・緊急通知が出ており、人材の掘り起こしや特別免許状の活用を進めるべき。また、市町村教育委員会に活用の意向を確認できないか。



この

特別免許状とは 優れた知識、経験を有する社会人等を教師として学校現場に迎え入れ、教師不足対策や学校教育の多様化や活性化を図るために都道府県教育委員会が授与する免許状。特別免許状取得者は当該都道府県でのみ教職をとることができる。

制度の周知と活用に取り組んでいく

県立学校教員として、これまでも看護師資格を有する者の社会人特別選考試験を実施しており、今後も進めていく。一方、きめ細かな指導が必要な小学校では、特別免許状の授与に慎重な対応が必要。指針や要綱等のHPでの公開は速やかに実施し、制度の周知が進むよう検討し、市町村の意向も十分踏まえた上で特別免許状の活用に取り組んでいく。



教育長

子育て支援員研修

子育て支援員の受講枠拡大を!

県では、子育て支援に必要な知識や技能等を修得するための研修会を実施しているが、年々希望者が増えているのに対して当選者は減少し、狭き門となっている。私自身も昨年保育士の資格を取得したが、保育士不足が叫ばれる中、この講座は大変有意義。新型コロナや見学実習の受け入れ状況を考慮しながらも、一人でも多く受講できるように拡大できないか。



この

市町村と緊密に連携して受講定員の拡大に努めていく

実習を国がカリキュラムで定めており、受講定員を簡単に増やすことは難しい状況。コロナ禍では、感染対策上、受講定員を絞って実施してきた。市町村と緊密に連携して実習協力施設の開拓に力を入れ、受講定員拡大に努めていく。



福祉部長

障がい児のオンライン交流

今夏、私は全国の寝たきりの子どもたちとオンラインを通じポッチャという障がい者向けに考案されたスポーツを体験した。このようなオンラインを使ったサービスを障がい児通所支援の一つとして認められないか。また、寝たきり等外出困難な子どもたちをオンラインでつなぐプラットフォームを作れないか。



この

ポッチャとは

運動能力に障がいのある競技者向けに考案されたスポーツのひとつ。または青のボールを投げてジャックボールと呼ばれる白い目標球にどれだけ近づけるかを競う。



パネル写真：視聴で操作できる機器でオンライン参加する競技者

オンライン活用の仕組みづくりを研究していく

現行では、障がい児が事業所に通所して対面でサービスを受けることとされており、オンラインによるサービスを認めることは難しい。今後、家族会等とも連携し、オンラインを活用した重度の障がい児が自宅にいながら各地の子供たちと交流できる仕組みづくりについて研究していきたい。



福祉部長

新型コロナウイルスワクチンの副反応

副反応の実態把握と公表、周知、対策を!

県内の高校生がワクチン接種後、副反応と思われる体調不良で登校できなくなり、また高額な医療費で大変な状況であるのご相談があった。副反応の実態把握に努め、その件数を公表すると共に、副反応が生じる可能性を周知、接種券の記載を工夫するよう求める等、対策できないか。また、副反応に県独自の救済措置を設けられないか。



この



ワクチン集団接種会場リハーサルの様子

情報を周知していただけるよう働きかけ、専門電話相談窓口や専門医療機関の指定など、整備していく

国が公表する情報が最も正確であり、県が公表することは適切でないと考えているが、副反応に関する情報を周知していただけるよう、市町村に働きかけていく。また、全国統一の法的救済措置が設けられているため、独自の救済制度は考えていないが、専門電話相談窓口や専門医療機関の指定など、お困りの方を支える体制を整備していく。



保健医療部長

高次脳機能障害の支援

「多様な精神疾患等」の一覧表に位置付け、実態把握と支援を!

国の指針や他の多くの都道府県と同様、高次脳機能障害を地域保険医療計画の「多様な精神疾患等」の一覧表に含め、圏域ごとに拠点医療機関を整備、連絡調整会議を実施する等体制改善すべき。



この

医療機関を拡充し、体制が整った上で必要に応じ検討していく
まずは身近な地域で対応できるよう、高次脳機能障害が診療できる医療機関の拡充を図り、地域での体制が整った上で、必要に応じ検討していく。



福祉部長

小児の高次脳機能障害の支援拠点を!

県が高次脳機能障害の支援拠点とする「埼玉県総合リハビリテーションセンター」には小児科がない。県内の小児の高次脳機能障害の家族からは、小児の高次脳機能障害に対応できる千葉県や神奈川県に頼らざるを得ず、家族でマンリーマンションなどを借りて治療にあたっているという切実な声が多く届いている。現在県内では対応しきれていない小児の高次脳機能障害支援拠点を県内に早急に設置すべき。



この



高次脳機能障害当事者の方との意見交換会

支援機関ネットワークを構築し、県総合リハビリセンターを軸に連携を進めていく

現状は療育施設が十分にあるとはいえない状況。また、県総合リハビリテーションセンターには、小児科はない。そこで、各地域にある医療機関と連携しながら、体制づくりを進めていきたい。



福祉部長

ナラ枯れ及び有毒植物「カエントケ」対策



ナラ枯れ発生地にも出現しやすい

猛毒キノコ「カエントケ」にご注意ください!

発見が相次ぐ、ナラ枯れ・カエントケの対策強化を!

県内でナラ枯れの発生報告が相次いでいる。山火事や倒木の原因となるナラ枯れ、および毒キノコ・カエントケの発生による被害状況を早急に把握、各種対策を強化し、更なる啓発及び注意喚起が必要ではないか。



この

対策を強化していく
森林環境譲与税等の活用を促していく。関係機関が連携して対策を強化し、県民生活への悪影響の防止に取り組んでいく。



農林部長

あらゆる媒体を活用しながら、広く県民に呼び掛けていく

県民への周知の協力を依頼した。改めて公園管理者など関係機関に通知するとともに、SNSなどあらゆる媒体を活用しながら、広く県民に呼び掛けていく。



保健医療部長

デジタル経済の実現

誰ひとり取り残さないデジタル経済の推進を!

県ではDX推進支援ネットワークを構築し、行政、経済団体、金融機関等がワンチームで県内事業者のデジタル化をサポートしているが、特にDXに付いていけない高齢の経営者をどう支援するのか。



この

DXに取り組むきっかけづくりから支援策提案まで丁寧に対応していく

分かりやすい動画の制作等、DXの取組みや支援策を説明できるよう進めていく。総合相談窓口として県産業振興公社に「DXコンシェルジュ」を配置。また、IT企業等に「埼玉DXパートナー」として、現在142社を登録していただくなど、高齢の経営者でもDXに取り組むきっかけ作りから支援策の提案まで丁寧に対応していく。



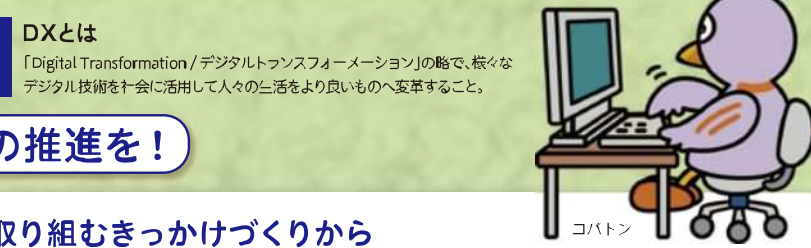
産業労働部長

多様な手段を活用して登録を働き掛けていく

より多くの事業者の方にインボイス制度に関する情報をお届けするため、SNSやメールマガジンなどを活用。さらに商工団体や税理士会における相談等を通じて事業者登録を働き掛けていく。DX推進支援ネットワークの相談窓口の周知をより強化し、事業者の課題に応じて、DXコンシェルジュやDXパートナーによるサポートにつなげていく。



産業労働部長



コバタン

DXとは 「Digital Transformation / デジタルトランスフォーメーション」の略で、様々なデジタル技術を用いて人々の生活をより良いものへ変革すること。



埼玉県議会議員

だいで清

きよし

DAIGO REPORT 令和4年春号
議会活動報告 **だいで清**

プロフィール

昭和27年5月 朝霞市に産まれる
市立第三小学校卒業、
日大豊山中・高等学校卒業
昭和50年3月 日本大学経済学部卒業
昭和50年4月 朝霞市役所勤務(14年間奉職)
平成7年12月 朝霞市議会議員選挙初当選
～3期連続当選
平成19年4月 埼玉県議会議員選挙初当選
～4期連続当選

現在(主な役職)

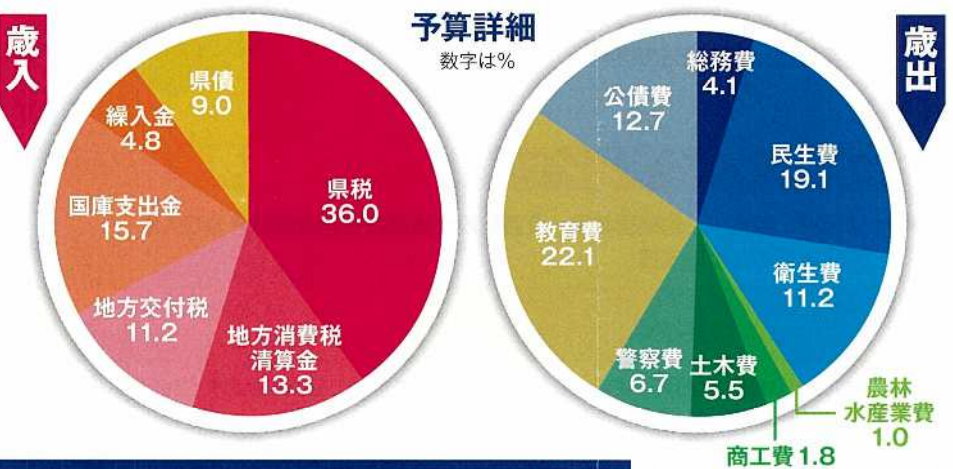
- ・朝霞キャロットロータリークラブ幹事
- ・(一社)朝霞青年会議所(JC)OB会長
- ・学校法人朝霞花の木学園理事
- ・自衛隊体育学校顧問
- ・埼玉県レスリング協会相談役
- ・黒目川花まつり実行委員会 副委員長
- ・埼玉県近代五種・パイアスロン連合顧問
- ・明治神宮崇徳会朝霞支部長
- ・朝霞市自治会連合会理事
- ・田島町内会長 ほか



令和4年度 埼玉県一般会計予算

前年比5.1%増

2兆2,284億5,900万円



年明け以降感染力の強いオミクロン株の拡大により埼玉県においては1日当たり7000人を超える過去最多の新規陽性者数を記録しました。これにより3月21日まで、まん延防止等重点措置期間を延長し様々な対策を講じてきました。定例議会中、ロシアによるウクライナへの侵攻が開始されたことから、埼玉県議会として侵攻に強く抗議し、軍の即時撤収を求めた決議を採択しました。

そんな中、埼玉県議会2月定例会において、令和4年度予算が成立しました。

一般会計予算総額は、2兆2284億5900万円(前年度比5.1%増)で昨年度に続いて、過去最大を更新しました。

新たな150年に向けた挑戦!!

令和4年度予算要望を提出しました

新年度予算編成に向けて、新型コロナからの回復、新しい時代を切り拓く公教育の推進、災害に強い県土づくり、医療サービス体制の整備と福祉の充実など政策提言に繋がる事項と地元要望を取りまとめた「令和4年度埼玉県予算編成に関する要望書」を知事に提出しました。



埼玉県は、昨年150周年という節目を迎えた中、令和4年度から「新たな150年」の発展に向けて課題解決に挑戦するスタートの年として、「直面する危機からの脱却」と「日本一暮らしやすい埼玉に向けた将来像の実現」を最優先に、限りある財源を重点的に配分して編成されています。

依然として新型コロナウイルス感染症との社会・経済両面での戦いが続いている中、感染拡大防止に取り組みと共に、経済の回復と成長を実現するために、令和4年度から始まる新たな5か年計画に基づき、「安心・安全の追究」、「誰もが輝く社会」、「持続可能な成長」の3つの将来像の実現に向けた取組を着実に進めてまいります。

声をカタチに! 地元要望の予算化が実現!!

新河岸川新盛橋右岸側の堤防強化工事を実施

新河岸川右岸側(新盛橋～新宮戸橋間)の堤防強化工事が完了し、同時に表層部が舗装され遊歩道として使用できるようになりました。散歩コースとして、是非一度歩いてみてください。引き続き、下流部(新盛橋～黒目川合流部)についても表層部舗装を実施するよう要請しております。



施工前



施工後

(仮) 第8児童相談所の整備状況について

要望していた朝霞地区への児童相談所設置について、令和7年度の開所に向け着々と準備が進められております。令和4年度では基本設計の予算が計上されました。

施設概要

建設地: 朝霞市青葉台1-2-16
敷地面積: 約4,367㎡
階数: 地上2階
構造: 鉄筋コンクリート
建築面積: 約2,200㎡
延べ面積: 約3,990㎡
建物高さ: 約9.6m(一部12.1m)
付属建築物: 駐輪場等



建設予定地



完成予想図

直面する危機からの脱却

新型コロナウイルス感染症の拡大防止

感染症専門人材の育成

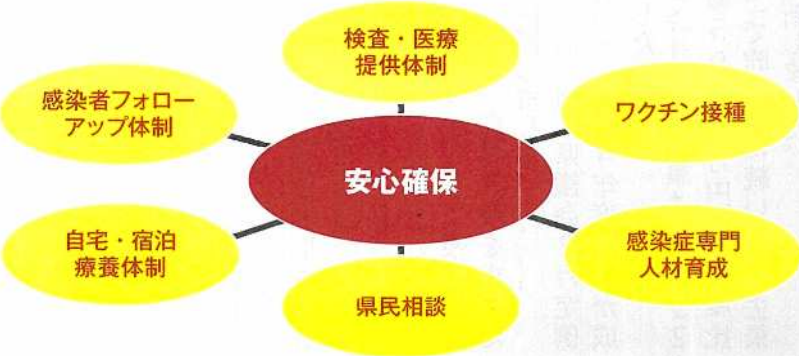
県内の病院又は有床診療所に勤務する医療従事者を各医療機関等において感染症対策のリーダーとして活躍できる専門人材に育成



年度	令和4年度	令和5年度	合計
受講者数(人)	343	199	542

フォローアップ体制や軽感染者等の療養体制の確保

- 宿泊療養施設の確保
- 自宅療養者の健康観察体制の拡充(保健所、宿泊・自宅療養者支援センター等)



社会全体のDXの推進とウイズコロナ下での経済回復・成長

中小企業におけるDXの推進

デジタル人材の育成・確保支援

- DXの推進役となる人材を対象としたDX研修講座の開催経費及び受講料を助成
- 県内中小企業のニーズに対応したデジタル人材育成のための在職者訓練の実施
- デジタル人材の人材紹介手数料を助成し、即戦力となる人材の確保を支援



県内経済を支える中小企業の支援

- 資金調達の円滑化支援
- 事業再構築等に取り組む中小企業等への支援
- 新技術・新製品開発支援 - コロナ特別枠の新設 -
- 誘客促進による観光の振興



エッセンシャルワーカーの処遇改善

- 看護師、保育士、幼稚園教諭、介護施設や障害福祉施設職員等の収入を引き上げるための支援

看護師	保育士、幼稚園教諭、介護施設や障害福祉施設職員等
収入を1%程度引き上げ(月額4,000円) ※10月以降は診療報酬の改定により3%程度へ	収入を3%程度引き上げ(月額9,000円)

日本一暮らしやすい埼玉に向けた将来像の実現

安心・安全の追究

危機管理・防災体制の再構築

図上訓練等による関係機関との連携強化

- 地震災害、大雪災害など危機や災害ごとに対処すべきシナリオの拡充
- 専門家による会議の設置



生活の安心支援

ヤングケアラー支援体制の整備

- 気軽にSNSや電話等で相談できる体制を整備
- 支援コーディネーターを配置し、市町村での取組を支援
- 支援推進協議会を設置し、生活援助サービス提供体制を検討



誰もが輝く社会

結婚・出産・子育てに前向きなマインドづくり

若者1,000人の出会い・婚活を集中的に支援

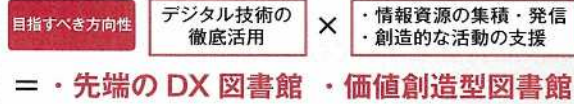
- AI婚活体験(期間限定でお相手をAIが紹介)
- 20代限定のオンライン婚活イベント開催



生涯にわたる学びの推進

新しい県立図書館の検討推進

- デジタル化の進展等に対応したサービスの実現を目指し、新しい県立図書館のコンセプトや機能をまとめた基本構想を策定
- 有識者会議の開催・調査やワークショップを実施



持続可能な成長

「あと数マイルプロジェクト」の推進

県内公共交通網の充実に向けた鉄道の延伸の調査検討

- 埼玉高速鉄道線延伸の鉄道事業者への事業実施要請に向けた共同調査
- 東京12号線、東京8号線、日暮里・舎人ライナー、多摩都市モノレールの延伸に係る課題解決のための調査



技術開発の支援

- 次世代ものづくり技術を活用した開発支援
- 産学連携による技術開発力向上支援



TOPIX 第26回参議院議員通常選挙

上田清司 参議院議員(前埼玉県知事) **が出馬表明!!**

今夏に施行される参議院議員選挙に向けて、現職の上田清司氏が出馬を表明しました。衆議院議員、知事在職時を通して、共に県政改革に取

国政と県政の架け橋





埼玉県議会議員

だいで清

きよし

プロフィール

昭和27年5月 朝霞市に産まれる
市立第三小学校卒業、
日大豊山中・高等学校卒業
昭和50年3月 日本大学経済学部卒業
昭和50年4月 朝霞市役所勤務(14年間奉職)
平成7年12月 朝霞市議会議員選挙初当選
～3期連続当選
平成19年4月 埼玉県議会議員選挙初当選
～4期連続当選

現在(主な役職)

- ・朝霞キャロットロータリークラブ理事
- ・(一社)朝霞青年会議所(JC)OB会長
- ・学校法人朝霞花の木学園理事
- ・自衛隊体育学校顧問
- ・埼玉県レスリング協会相談役
- ・黒目川花まつり実行委員会 副委員長
- ・埼玉県近代五種・パイアスロン連合顧問
- ・明治神宮崇敬会朝霞支部長
- ・田島町内会長 ほか
- ・無所属県民会議 副代表



無所属
県民会議

DAIGO REPORT 令和4年秋号
議会活動報告 だいで清



発行：埼玉県議会【無所属県民会議】朝霞事務所 ご意見ご要望をお寄せください
事務所所在地：〒351-0011 朝霞市本町2-1-1 TEL/FAX：048-299-5680 E-mail：daigo@feel.ocn.ne.jp

令和5年度予算要望書を提出!!

団体ヒアリングの様子



会派の皆さんと共に



この要望書には地元朝霞市から要請を受けた、雨水対策として市内に流れる新河岸川、黒目川両河川の河道掘削や国道254号バイパス第二期整備区間の早期整備のほか新型コロナにより打撃を受けている中小企業・小規模事業者への支援など18項目が含まれております。

県民の思いを
しっかりお届け
しました!



私たち無所属県民会議は県民こそが主役の県政、そして県民幸福のための行政を目指し、日々活動しております。
会派及び所属議員各自の活動で寄せられた皆様の声をもとに県政への提言をしています。
本年は、県政全般に関わる239項目、各地元要望191項目の合計430項目に渡る「令和5年度予算編成に関する要望書」を取りまとめ、10月14日に知事へ提出いたしました。

この要望書は、会派活動方針3つの柱を軸に構成しております。

誰ひとり取り残さない 就業機会の提供

- メンタルヘルスへの対応
- ニートや引きこもりの自立支援
- 指定難病患者への就業支援体制の構築

など

子供たちの将来を 見据えた公教育の推進

- 県立中高一貫校の推進
- 教育DXの推進
- スクールカウンセラーの充実による相談体制の強化

など

県民の命に直結する 施策への重点投資

- 新たなフェーズに対応した新型コロナ医療体制
- 児童虐待防止対策の強化
- 産後うつ等や育児不安への支援
- 水害防止のための総合治水対策

など



声をカタチに!

あした 住みよい朝霞の未来に向かって!

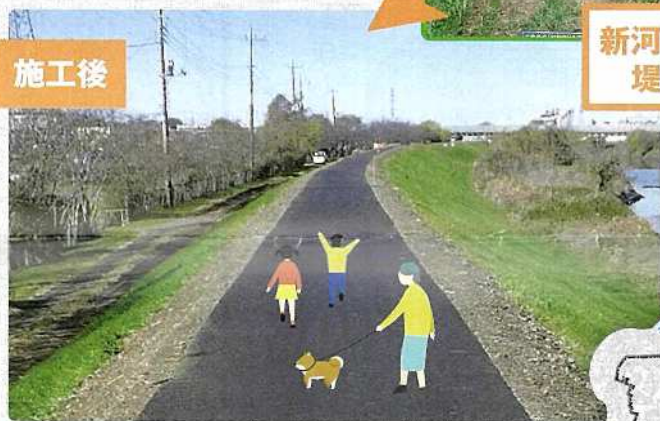
県政においては、毎年各方面からの要望を受け事案化をしておりますが、計画や予算の関係から地元案件の具体化には相当の時間を要します。今回のレポートでは、これまで取り組んできた案件の中で、進展している事柄を取り上げご報告させていただきます。日々変化が著しい社会にあつて、住みやすい環境づくりが大切と考えております。私たちの住む朝霞がもっともっと輝きを増すよう努力してまいります。



1 新河岸川と黒目川をつなげる遊歩道が完成

新河岸川堤防強化工事に合わせて天端を舗装にしたことにより、黒目川の市内膝折地区～田島地内で合流する新河岸川の右岸側を宮戸地区までつなげる遊歩道が完成しました。これにより市内の散歩コースが一つ増えました。

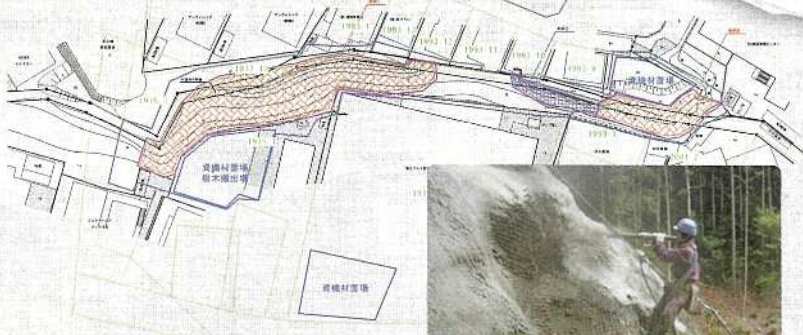
晴れた日には是非歩いてみてください。川辺りでは季節の移り変わりや野鳥の観察などから自然環境の豊かさを感じると思います。



3 膝折町3丁目地内、土砂災害特別警戒区域の対策について

近年多発する集中豪雨では近隣にお住まいの方や、崖下の建物所有者皆さんには心配をおかけしておりますが、この対策事業の施工に向けて着々と準備作業が進められているところです。

現在、ご提供いただく用地の測量を行っており、面積が確定次第用地の協力をいただき、工事に入ることとなります。



2 国道254号和光富士見バイパスの進捗状況について

国道254号バイパス第Ⅱ期区間の内、志木市の一部(富士見市浦所バイパス～志木市役所通りの県道)につきましては令和5年春開通に向けて工事が進められております。いよいよ朝霞市分の早期開通が待たれるところです。

志木市内残り分～朝霞市内間木交差点について、JR武蔵野線を高架で跨ぐ計画を、早期着工に向けて高架式から地表式に見直すべくJR側と協議を進めておりました。本年8月、協議が整ったことから地元説明会を経て都市計画変更の手続きに入ることになりました。



4 朝霞児童相談所(仮称)整備に向けた状況について

迅速かつ適切な児童虐待に対応を行うため、朝霞市内に児童相談所と一時保護所を開設する整備を進めています。(朝霞保健所協)

今年度は設計費が予算計上されており、現在、説明会を開催し、地元の意見を踏まえたうえで詳細設計が進められます。令和7年度開所に向けて、令和5年9月頃に工事着手することとなります。



完成予想図

誰もが活躍できる未来のために

REPORT
No.56

埼玉県議会議員 無所属

平松だいすけ

無所属県民会議新座支部 埼玉県新座市野寺 2-8-48 電話 048-458-3195
URL <https://hiramatu.net> メール daisuke@hiramatu.net Fax 048-458-3196

皆さまのご意見や公約をもとに様々な問題に取り組み、HP や SNS 等でお伝えしてきましたが、改めて主な取組をご報告します。

新型コロナウイルス対策に 引き続き取り組みます

事業者や医療従事者など、新型コロナウイルスにより大きな影響を受けている方々から多くのご相談をいただき、その問題解決に取り組んできました。



新型コロナウイルス感染症
対策特別委員会

また、新型コロナウイルス感染症対策特別委員会の委員として、県の情報発信の弱さ、相談体制の脆弱性などを指摘し、まだ解決できていないこともあります。改善を図ってきました。

教育問題ではコロナ禍にあっても子供たちの学びを止めないため、オンラインの有効活用を提案すると共に、コロナが不安で登校できない県内児童生徒の調査を行うよう提案。調査が実施され、実態が明らかになりました。児童生徒への支援を行っていくとの回答も引き出しました。この調査結果は新聞報道もされました。また、会派の政策調査会のメンバーとして、実際に入院された方、ホテル療養中の方、最前線で働く方々からヒアリングをし、要望に盛り込んできました。

引き続き困難な状況にある方々に寄り添い、取組を進めていきます。



要望を知事に



大規模接種会場調査

設置を強く求めていた児童相談所が 朝霞市内に新設されます

朝霞地区への児童相談所の新設は、会派として議会で取り上げたり、知事に要望を行うなど、様々な形で粘り強く取り組んできた問題です。このような活動を受けて大野知事が決断、朝霞市内への新設が決定し、予算が計上されました。一時保護所併設の児童相談所については以下のような形で決定しました。

- ・建設場所：朝霞市内
- ・開設時期：令和7年度予定
- ・所管区域：新座市、朝霞市、志木市、和光市、富士見市、ふじみ野市、三芳町



※今まで新座市は所沢児童相談所の所管。所沢児童相談所と川越児童相談所の所管人口は全国平均の約2倍の110万人を超えていたが、新設により、所管人口の平準化を図ることができます。

受験生を狙った痴漢への対策を求め 県警の対策が実施されました

1月に行われた共通テストの受験生を狙った痴漢予告がSNS上やネット掲示板でされているとの情報を得て、県警察本部と協議、対策を求めました。その結果、共通テスト当日、主要駅で立哨警戒、列車に乗車しての警戒、各警察署での警戒が実施されました。

地元の問題にも全力で取り組みました

多くの皆様から危険な歩道対策などご相談をいただきました。早速、歩道の整備、信号機の設置などを県と協議、写真の通り実施することができました。また、コロナ禍であっても感染対策を実施した上で、地域の皆様のお声をお聞きすべく、共に活動を行いました。これからも皆様の想いに向き合い、結果を出していきます。



- ① 片山交差点近くの歩道未整備区間について、地権者と平松が直接お話し、ご協力のご快諾をいただき、歩道整備が実現
- ② 地元の皆様から要望をいただき県警と協議、時間はかかりましたが栗原5丁目に手押し式信号機の設置が実現
- ③ 危険な側溝のご相談をいただき県と協議、すぐに安全なものとの交換が実現（東北2丁目、栗原）
- ④ (毎年度実施) 新座市の課題を直接知事に要望
- ⑤ 地元高校生から歩道の通行が危険と相談があり、県と協議、ガードパイプ設置が実現
- ⑥ 台風被害を受けた東松山市の現地調査とともに災害ボランティア活動の実施
- ⑦ 台風被害を受けた千葉県の現地調査とともに災害ボランティア活動の実施
- ⑧ 県職員と共に現場に向かい、安全対策を協議
- ⑨ 協議の結果、右折レーンが設置された栗原交差点
- ⑩ 市民の方からの声を現地にしてお聞きし改善策が実現（西堀）
- ⑪ 新座市商工会青年部の清掃活動に参加、様々なご意見をいただく
- ⑫ 毎年恒例の「二中フェスタ」のお手伝い（コロナ発生前）
- ⑬ 志木駅前の花壇植え替えに参加、様々なご意見をいただく

引き続き、皆様の命とくらしを守るため、そしてお約束した公約の実現に向けて取組を進めてまいります。お気づきのことがありましたら、遠慮なくお声をお寄せください。ご連絡をお待ちしております。

メール daisuke@hiramatu.net

※Facebook など SNS からのご連絡もお待ちしております。

平松だいすけ プロフィール

- ・昭和52年11月18日生まれ。両親は山口県出身。三人兄弟の長男。東北二丁目在住。
- ・十文字短大付属幼稚園、新座市立東北小学校、新座市立第二中学校、埼玉県立浦和西高校を経て、東海大学政治経済学部卒業。
- ・平成16年より新座市議会議員。2期連続当選後（2期目はトップ当選）、平成24年7月、新座市長選挙に立候補するも落選。
- ・落選後は民間企業に勤務、新規に自治体向け情報誌「自治体通信」を立ち上げる。
- ・平成28年2月に再び新座市議会議員選挙でトップ当選。
- ・平成31年4月、埼玉県議会議員選挙で19,744票をいただきトップ当選。
- ・心がけていること「巧詐は拙誠に如かず（巧みに偽りを欺こうとしても、拙くとも誠意を示すことにはかなわない）君子は和して同ぜず（優れた人間は調和をしながらも、主体性を失わず、安易に同調しない。）」

県議会での主な取組



更なる子供の貧困対策を

日本では子供の7人に1人が貧困状態（先進国で最低レベル）。貧困家庭の子供は再び貧困に陥りやすく、この貧困の連鎖を断ち切るため質問を行いました。

Q 市町村での取組の差の解消を。

A 今後は市町村職員に、子供の貧困対策計画の策定や地域ネットワークづくりの研修を実施し、取組が活発に展開されるよう支援する。

Q 学びの貧困が、貧困の連鎖の大きな原因にもなっている。貧困家庭の子供たち向けの学習支援事業が後退するところがないようにするべき。

A 貧困の連鎖解消に有効であると考えており、市に対し引き続き支援を行う。

を実施してはどうか。

A まずは、起業に興味のある高校生を対象に、ビジネスプランの作成やマーケティングセミナー開催など学びの場を提供していきたい。起業家養成プログラムは今後検討する。

Q 大学と連携して起業したい、或いは起業した学生たちと県内の研究機関や企業などとマッチングさせ、学生ベンチャーを創出するプラットフォームを作ってはいかがが。

A 大学生起業家の育成・支援の重要性は高まっているが、大学生に特化した支援は行っていない。今後は大学との連携を深め、ビジネスプランコンテストの実施など大学生起業家の育成に向けた取組を検討したい。また、(仮称)渋沢栄一起業家サロンにおいて大学や研究機関などと連携し、様々なマッチングが生まれる取組を考える。

障害者優先調達方針の推進を

障がい者の自立には更なる工賃の向上が必要です。そのためにも重要な優先調達方針が活かされているとは言い難く、質問を行いました。

Q 各部署で施設が請け負える業務を切

Q 経済的貧困そのものを低減・緩和させる更なる取組を。

A ひとり親家庭の約7割は養育費を受け取っておらず、養育費確保に向けた啓発や相談対応に力を入れている。地域の自発的な取組が広がってきており、更なる支援の充実を図っていく。



子ども食堂の状況を伺いながらお手伝い

新座団地付近の汚水逆流対策を

台風などにより新座団地付近で汚水が逆流し大きな被害が発生。汚水管に雨水が入り満管状態になったことが原因でした。早速県議会で汚水の逆流防止策を求め、以下の答弁を引き出しました。



答弁…雨水が汚水管に大量に入り込むことが主な原因なので、対策を行う。

り出し、優先

調達の目標を設定し達成すべきではないか。

A 全庁で障がい者就労施設の調達額を増やせるよう、取り組んでいく。



障がい者の方々働く様子

Q 市町村にも施設が請け負える仕事の切り出しを働きかけ、工賃向上につなげるべきではないか。

A 市町村の調達額を更に増やせるよう努力していきたい。

学校教育でのICT活用を

日本の学校教育のICT活用はOECD諸国の中で桁違いに遅れるなど世界から取り残され、その弊害も生じています。また、私自身、民間勤務の際に公立学校と私立学校の差を痛感しました。変化の激しい時代を生き抜く力を学校で身に付けてもらうため、質問を行いました。

Q 今年から高校に入学する生徒たちはすでにICT環境が整った中で学んでいる。生徒のスマートフォン等を使用する高校とは相当な落差がある。県立学校での端末導入は期限を区切り、県が責任を持って早急に実施すべきだ。

一方、議員指摘の通り、雨天時の浸水対策は、時間と予算を要するので、まずは汚水管上流からの流入量を減少させるため、接続点に設置されているゲートを絞ることにした。

DXの推進を

デジタル化の遅れが、日本経済の凋落につながっています。埼玉から日本を元気にするため、県がDXをリードし、イノベーションを生み出していく必要があると考え、質問を行いました。

Q DXを進めるには中長期的なデジタル人材育成が重要であり、職位や業務内容に応じたスキルを計画的に習得できるよう職員の育成プログラムが必要と考えるがいかがが。

A 議員指摘の通り、DX推進に必要なデジタル人材像を明確にした上で、中長期的な育成の指針を定め、全職員が求められるデジタルスキルを身に付けられるよう取り組む。

Q 内部に知識のある人材、CDO(最高デジタル責任者)を設置しては。

A ある段階ではCDO設置を検討したいと思っているが、現段階はその前の全職員をデジタルの方に向けていく段階である。

A 県立高校では生徒のスマートフォンを含む1人1台端末の環境だが、議員指摘の通り、できるだけ同じような端末を学習に使うべきと考える。令和5年度から端末導入が進むよう取組む。

Q ICT活用状況は自治体によってかなり差がある。正確な実態把握の上、フォローが必要と考えるがどうか。

A 市町村の活用状況の違いは、教員の指導力や端末使用のスキルの差、校内推進体制が十分に整備されていないことなどによると考える。県ではICT支援員などとWeb相談窓口を設置している。今後も、学校現場の実態を正確に把握し、ICTの効果的な活用が進むよう積極的に取り組む。

その他の質問・質疑

- 1 県民と共に進めるDXについて
- 2 DXを進める上での効果的な情報共有について
- 3 生物多様性保全戦略について(1)科学的知見に基づいた緑地の評価実施を
- (2)戦略実現のための財源確保を(3)県がイニシアティブをとって戦略の実現を柔軟な対応を
- 4 民生委員・児童委員の欠員補充への成功のため、市町村への財政支援を
- 5 埼玉版スーパー・シティプロジェクト
- 6 大江戸線延伸について

Q 中長期的には内部人材の育成が重要だが、短期的には、積極的に外部からデジタル人材を採用すべきではないか。

A デジタル人材の不足は深刻だが、今後も諦めずに、採用の努力をする。

積極的なスタートアップ・ベンチャー支援を

ベンチャースピリッツは今の日本にこそ必要な精神であり、停滞した日本経済を変えるには、新しいビジネスモデルで新しい市場を創出するようなスタートアップ・ベンチャーが必要です。県が育成支援を行い、経済の活性化を促すべきと考えて質問を行いました。

Q ベンチャー支援を検討する有識者会議のメンバーにスタートアップ・ベンチャーに精通した経営者、専門家が必要と考えるがいかがが。

A そのような方達の参画を目指す。

Q 高校生への起業家教育の充実を図るべきでは。

A 今後は、海外進出した起業家など、生徒が大きな夢を抱けるような経験を持った方も講師とし、起業への意識をより高められる講座にしていきたい。

Q 高校生向けの起業家養成プログラム

- 7 NPOの戦略的育成を
- 8 頻発する風水害への備えを
- 9 学校教育情報化推進計画の早期策定を
- 10 ICT教育推進課の体制強化を
- 11 EdTech推進方針の策定を
- 12 県内市町村の小学校・中学校、県立学校の校内ネットワークの整備について
- 13 県内市町村の小学校・中学校の端末整備計画について
- 14 県立学校での端末の整備について
- 15 下水道に関する意識の向上について
- 16 栗原交差点改良について
- 17 県道保谷朝霞線について
- 18 志木街道の歩道整備を
- 19 保育園の待機児童問題、保育士の確保について
- 20 身近な緑の保全について
- 21 県内産業のデジタル化支援について
- 22 教育ICT支援員について
- 23 教員用PCの授業活用について
- 24 災害防災拠点校について
- 25 災害情報サポーターについて



予算審議会での質疑の様子

誰もが活躍できる未来のために

REPORT
No.57

埼玉県議会議員 無所属

平松 だいすけ



WEB サイト

無所属県民会議新座支部 埼玉県新座市野寺 2-8-48 電話 048-458-3195
URL <https://hiramatu.net> メール daisuke@hiramatu.net Fax 048-458-3196
お問合せ <https://hiramatu.net/inquiry>
※ホームページ・フェイスブック・ツイッター・インスタグラムでも情報配信中



お問合せ

活動報告・12月定例会のご報告

皆さまのご意見や公約をもとに様々な問題に取り組んでまいりました。
最近の取組をご報告します。

歩道設置に向け動き出しました

県道練馬所沢線（栗原交差点から野寺小学校方面の一部）に歩道設置の要望をいただき、地権者の方、県とも協議をしておりました。現在、地権者の方々のご協力をいただき歩道の設置に向けた取組が進んでおります。



快速急行停車の要望

3月18日実施予定のダイヤ改正により、志木駅に快速急行が停車しなくなります。志木駅への停車を求める要望を県地域経営局長に行いました。この要望は県から東武鉄道への要望に入る見通しです。



右折矢印信号設置へ

ご要望を受け、県警と協議していた栗原交差点（県道練間所沢線側）への右折矢印信号が今年度中に設置される見通しです。



身近な取組について

※未報告・最近の取組のみ

- ・ 県道保谷志木線の側溝がたつきの修繕（栗原 6 丁目）
- ・ 県道新座和光線（旧川越街道）への横断歩道設置（野火止 7 丁目）
- ・ 志木街道の見通しの悪い交差点に路面表示の設置（野火止 3 丁目）
- ・ 県道保谷志木線の舗装の打ち替え（池田 3 丁目・旧 JA 片山支店～関越）
- ・ 防衛道路歩道の穴の補修（大和田 4 丁目）
- ・ 国道 254 号の冠水対策として土砂撤去・排水溝清掃（中野 2 丁目・大和田 1 丁目）
- ・ 志木街道の側溝のがたつきの修繕（北野 1 丁目）
- ・ 志木街道沿いの飛び出て危険な境界杭入れ替え（野火止 6 丁目）
- ・ 旧河川敷の樹木伐採・撤去（馬場 4 丁目）

引き続き、皆様の命とくらしを守るため、そして
お約束した公約の実現に向けて取組を進めてま
いります。

お気づきのことがありましたら、遠慮なくお声
をお寄せください。ご連絡をお待ちしております。

お問合せ <https://hiramatu.net/inquiry>

※Facebook など SNS から
のご連絡もお待ちしております。



12月定例会のご報告

知事より 483 億 4,859 万 1 千円の補正予算が提案され、県議会で審議の結果、成立しました。エネルギー価格・物価高騰の影響を受ける事業者・県民への支援、幼稚園等の送迎時における事故防止対策にかかる予算などです。以下、主な内容を報告します。

公共交通事業者への支援 4 億 7,230 万円

乗合バス及びタクシー事業者の燃料費高騰の影響分への補助

医療機関等への支援 38 億 3,670 万円

高騰する光熱費等の影響緩和のため病院、一般・歯科診療所、分娩取扱助産所、調剤薬局、施術所への補助

福祉施設への支援 7 億 9,188 万 1 千円

高騰する食材料費の影響を緩和するため、高齢者施設、障害者施設、児童養護施設、保育所等に対する補助

資金繰り支援 2,000 万円

資金繰りが厳しい中小企業等を支援するため、伴走支援型経営改善資金の融資枠を 200 億円から 400 億円へ拡大

観光応援キャンペーンによる観光関連事業者への支援 18 億 8,915 万 3 千円

県での旅行に対して、最大 20%の旅行代金の割引や最大 2,000 円分の地域観光クーポンを配布

省エネ・再エネ設備の導入支援 10 億 3,127 万 6 千円

省エネ・再エネ設備（空調設備、ボイラー等の更新及び太陽光発電設備、蓄電池等）の県内中小企業等での導入経費を補助

妊婦や子育て家庭に対する支援

87 億 4,533 万 4 千円

妊娠期から出産・子育てまで一貫した伴走型相談支援の拡充及び出産育児関連用品の購入費等への経済的支援を一体的に行う市町村に対し補助

幼稚園等の送迎時における事故防止対策

14 億 9,006 万円

送迎時の安全確保のため、幼稚園、小学校、中学校、特別支援学校、障害児通所支援事業所等が送迎用バスの安全装置や登園管理システム等を導入する際の補助

その他、価格転嫁に向けた環境整備、ひとり親世帯等に対する修学資金や就学支度資金などにかかる費用なども計上されました。ちなみに、光熱費高騰の影響を受け、県有施設（学校、信号機、道路照明灯、上下水道施設等）の光熱費が 137 億 4,573 万 2 千円の増額となっています。

12 月定例会では子供の貧困対策、アーバンスポーツの推進、認知症対策、教育 ICT 環境整備など 12 項目について一般質問も行いました。

**引き続き皆さまの想いに向き合い、
県政の場で形にしてまいります。**

お問合せはこちら

<https://hiramatu.net/inquiry>



平松だいすけ プロフィール

- ・昭和 52 年 11 月 18 日生まれ。両親は山口県出身。三人兄弟の長男。東北二丁目在住。
- ・十文字短大付属幼稚園、新座市立東北小学校、新座市立第二中学校、埼玉県立浦和西高校を経て、東海大学政治経済学部卒業。
- ・平成 16 年より新座市議会議員。2 期連続当選後（2 期目はトップ当選）、平成 24 年 7 月、新座市長選挙に立候補するも落選。
- ・落選後は民間企業に勤務、新規に自治体向け情報誌「自治体通信」を立ち上げる。
- ・平成 28 年 2 月に再び新座市議会議員選挙でトップ当選。
- ・平成 31 年 4 月、埼玉県議会議員選挙で 19,744 票をいただきトップ当選。
- ・心がけていること「巧詐は拙誠に如かず（巧みに偽り人を欺こうとしても、拙くとも誠意を示すことにはかなわない）君子は和して同ぜず（優れた人間は調和をしながらも、主体性を失わず、安易に同調しない。）」